

平成30年度 第3回能勢町子ども・子育て会議  
～議事録～

日時：平成31年3月28日(木)10:00～12:15

会場：能勢町保健福祉センター1階 集団指導室

出席者：小島会長・樺山副会長・宇佐美委員・宮部委員・市村委員・三島委員・斎藤委員・中井委員・中谷委員

【計9名】

関係機関：大阪府池田子ども家庭センター 田中総括主査

傍聴者：3名

事務局：健康福祉部 瀬川部長・花崎福祉課長・西村保育所長  
大植福祉係長・倉中福祉係主事・藤原社会福祉士、  
古嶋家庭教育専門員

教育委員会 寺内教育次長、辻学校指導課長、古畑生涯教育課長

- 次第：1. 開会 司会：花崎課長  
2. 議事 議長：小島会長
- ① 次期能勢町子ども・子育て支援事業計画にかかるニーズ調査集計結果(速報値)について
  - ② 平成30年度子ども・子育て支援事業の取組状況について【経過報告】
  - ③ 幼児教育無償化(内閣府所管)について
  - ④ その他
3. 閉会

司会	<p>皆様、おはようございます。本日はお忙しい中、ご出席賜り、ありがとうございます。</p> <p>定刻になりましたので、若干おみえでない委員様もいらっしゃいますけれども、只今より、平成30年度第3回能勢町子ども・子育て会議を開催させていただきます。</p> <p>なお、本日は、寺裏委員、八木委員、上佐古委員、三浦委員、中脇委員より欠席のご連絡をいただいておりますので、報告いたします。</p> <p>また、本日は次期子ども・子育て支援事業計画策定業務を受託いただいている㈱総合環境計画大阪支社様に同席をいただいております。</p> <p>それでは、開会にあたり、小島会長より一言ご挨拶をお願いします。</p>
会長	<p>本日は、大変お忙しい中、委員の皆様方には第3回能勢町子ども・子育て会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本年度の最後になります能勢町子ども・子育て会議を開催させていただきますと思います。</p> <p>現在の子ども・子育て支援事業計画は、平成27年度に策定され、来年は5年目を迎えます。再来年度からは今年の年度末に策定する計画を、より一歩前の計画を策定することになっています。</p> <p>今日は、ニーズ調査をしていただいている結果の報告なり、今の事業計画の進捗状況の報告をいただくことになっています。</p>

	<p>また、幼稚園、保育所等の無償化について、案件となっています。子どもたちは春休みに入っています。いま、計画に従ってやっていただいている居場所づくりアンケートの内容をみていると、子どもをどのように預けていこうとか、保護者としてはいろいろ考えておられると思いますが、こういう対応をしていただくことによって、安心しましたとの記述があったように思います。</p> <p>やはり、世の中には、とつてもつらい目にあっている子どもたちが多くいます。現実、子どもたちへの幸せにつながっていないことがほとんどであるように思います。</p> <p>ずいぶん前になりますが、子どもたちの共生社会とは何か、ということ考えたことがあります。共生社会のなかでうまく育った子どもは必ず自分が大人になってもきちんと考え、今、大きな社会問題になっている地域全体の共生を考えていくことに繋がることとなります。</p> <p>それでは、案件1. 次期能勢町子ども・子育て支援事業計画にかかるニーズ調査集計結果（速報値）について、事務局よりご説明をお願いします。</p>
事務局 （福祉課）	（次期能勢町子ども・子育て支援事業計画にかかるニーズ調査集計結果（速報値）の説明）
会長	只今、事務局より説明がありましたが、まず、全体に対してご意見、ご質問等ございませんか。
会長	5年前のアンケートでは、学校が地域ごとにありましたが、今回は学校が統合され1つだけになりました。それに伴い、保護者の認識など変わった点はありましたか。
事務局 （福祉課）	回答のうち、「支えられている人」について、5年前は「近所の人」が5割ありましたが、今回は減っています。以前は小学校を通じて地域との繋がりがありましたが、統合によって町全体としての繋がりができた一方で、能勢町44区ありますが各集落では子どもが少なく、地域との繋がり、ご近所の支援が希薄になっているのではないかと考えています。
会長	<p>ありがとうございました。対象も変わってきていますので、一概には言えない部分があります。</p> <p>今回のニーズ調査は前回と比べて子育ての背景が変わっているという前提で見た方が良いと思います。</p>
事務局 （学校教育課）	<p>「近所の人」が減った一方で、「同じ世代の子どもをもつ保護者」が増えており、親同士の繋がりが出てきていることも一つの変化として捉えられます。</p> <p>また、小学校再編前は、久佐々小学校にしか放課後児童クラブがなく、他の地域の子どもは送迎が必要でした。再編によりどの地域の子どもも活用できるようになり、認知が上がって利用が増えています。親の就労状況の変化によりニーズの高まりを感じており、施策に反映したいと考えています。</p>

会長	<p>ありがとうございます。ほかにございませんか。</p> <p>事務局の方で5年前の学校が地域の学校として見守れていました。学校が一つになっての時期、内容的に違うと思います。子どもの状況も違う、親の状況の違う、何かそういう大きな違いはありませんでしたか。</p>
事務局（福祉課）	<p>先ほども速報値の内容を説明させていただきましたが、事務局も目を通す中で、一番気になるのは、調査結果の最後のところで、5年前では近所の方で支えられているとの回答が5割近く、今回の調査ではご近所に支えられているとの回答が減っています。</p> <p>やはり、当時小学校が地域にあって、つながりが5年前では旧校区ごとにあったのが、統合するなかで町全体でのつながりはひろがりつつありますが、児童数が少ない現状で、今出生数が40名程度であり、平均すれば一つの区に一人しか生まれていない状況です。地域でつながり、ご近所の支援が希薄になってきている部分があるのではないかとこのところが、今回の結果ではでてきていると認識しています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。ほかにございませんか。</p>
事務局（学校教育課）	<p>小学生の保護者間での繋がりができているのではないかとすることは、学校を再編したことで、あらわれています。また、地域住民とのかわりは減っているが保護者同士とのつながりがあるということがよみとれます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ほかに皆様ございませんか。</p>
事務局（福祉課）	<p>先ほどの補足をさせていただきたく思います。先ほども放課後児童クラブのニーズが高まったということで、現に利用者は増えています。土曜日の開設についての要望はお聞きしているところです。5年前については旧久佐々小学校の児童クラブを設置させていただいて、その他の学校区からの利用については送迎の車により、お迎えはさせていただくという形で運営していました。今回、学校再編で、学校に併設の能勢放課後児童クラブを活用いただくことになり、認知度もあがり利用者も増えてきているといった状況です。</p> <p>また、保護者の就労形態も5年前と変化しており、そういうところでのニーズも高まってきているところです。</p> <p>このような結果で、次の計画にどのように反映をしていくのか、皆様のご意見をいただきながら、計画に反映できればと思っています。</p>

<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。計画のなかでそれぞれの事業はいい方向で展開していただいているので、子育ての方々と子どもたちの願いとがうまく一致すれば、認知度があがるし、利用も増えていきます。再編前と比較すれば、再編後は通学バスにより親御さんたちにも安心感もでてきているのではないかと感じています。たくさん調査がありますが、皆様方いかがでしょうか。特にお子さんをお持ちのお母様方が意見がありましたら、お願いいたします。</p>
<p>中井委員</p>	<p>土日の放課後児童クラブについては現在実施されていません。保育所に通わせていた人が小学校に上がると預け先が無くなるという状況になっています。長期休暇中は対応していただいて安心していますが、親の仕事は長期休暇中も通常時も関係ありません。</p> <p>この11月の放課後児童クラブでの説明会で、土曜日の放課後児童クラブが無いことを初めて知るという状況です。何人かに話を聞いてみると、ある人は土曜日は仕方なく仕事を休んでいます。子どもだけで家で携帯を持たせて留守番をさせている人もいます。介護中でどうしようもないという人もいます。土曜日はお仕事の方で児童クラブがないのでお休みさせてほしいと会社に話したところ、会社はいい顔をしなかったので今は転職活動を始めた人もいます。ほかに預けるところがあれば良いが能勢町は無い状況なので、そのようになっている現状です。ファミリー・サポート・センターは皆さん知っておられるのですが、やはり一対一で預ける怖さがあると感じている保護者が多いのが正直なところです。日本ではまだ、知らない方に子どもを預けるという状況になれていないので、ファミリー・サポート・センターを選択しようか迷っているのが現実で、預かる難しさを感じさせていただきました。こんな声を何人かに聞いた状況ですが、役場の方も一生懸命やっけていただいています。母親としても一緒になりなるとかこのことが解決できないか、発言いたしました。ご尽力いただけましたらと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。現実問題、いろんな形でほんとにつながらはあるけれども、休業外の土曜日で、これは能勢町だけでなく、他の地域も悩みの一つとして持っているところが多いと思います。</p> <p>また、ニーズ調査にはでてないかも知れませんが、次の計画策定にはそういう声があったということ、事務局で受け止め、今の時代は行政や、どこかに頼めばいいということではなく、みんなで協働して、共存、共用、共生していく時代なので、こういうよい方法があるということであれば、事務局までご連絡いただくのも方法ですし、自分たちで考えてやることもまた先進的な取組になると思います。</p> <p>ほんとにいいご意見ありがとうございました。切実な悩みであろうと思います。どうもありがとうございました。</p>
<p>中井委員</p>	<p>どうぞよろしくお願いします。</p>

会長	ほかに皆さんございませんか。はい、お願いします。
市村委員	こちらの会議ででた意見を反映して、ニーズ調査の表紙のところで回収率を上げる工夫をしていただき、説明文や下線を引いてくださるなど、前回より多く回収されてすごく良かったと思う。5年前からの取組が今回の回答に反映されているので、今回もすごく分かりやすいカラーで資料として提出いただき、同様にこの結果をこれからの計画に反映し、取組を続けていかななくてはいけないと感じました。
会長	どうもありがとうございました。ほかにございませんか。
宇佐美委員	<p>資料 29 ページを見ると満足度が上がっており、これは社会全体で向上すべきものなので、上がるのが当然と考えています。一方能勢町では、例えば健診時に保健師が一人ひとりをきめ細かくサポートしてくれるなど、カバー率が高い事が強みになっており、努力の賜物でもあると思います。こうしたサービスの向上が満足度にも繋がっていると思います。</p> <p>地域の支えについて、ファミリー・サポート・センターの利用が怖いというご意見がありました。しかし実際に利用してみると、初めは心配していたが、とても信頼できる人に対応していただけた経験があります。今後オフィシャルサービスを選択するケースが増えてくると思いますが、利用を広げていくには、このような成功例を示す子育て向けのインフォメーションや広報が必要だと思います。知名度を上げ、安心してもらえるよう、質の向上をしてほしいと思います。</p> <p>また、病児保育についての利用希望が低いけれども、そもそもサービスが無いものは求めようがない、といった状況が背景にあるのではないかと思われるので、今後病児保育についても考えていきたいと感じました。</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。先ほどのご意見と繋がりますが、やはりいろんな形で能勢町はサポートいただいて、案ずるより生むが安しという部分はお互い共有をする、そして、保護者のつながりができている、困りごと等々もお話をしていけば、助け舟がどこかから出てくるのではないかなと感じています。</p> <p>せっかく、能勢町はここまでうまくいっているのですが、なんとかもう一歩前へ進めるためには、やっぱり広めていく活動により、利用者が増えていくということだったと思います。</p> <p>その他ございませんか。</p>

事務局（福祉課）	<p>（放課後児童クラブの状況について補足説明）。</p> <p>平成 28 年度の再編により設置された新たな放課後児童クラブは、定員 40 名、常勤指導員 1 名とアルバイトの補助員 2 名の体制でスタートしました。その後入会希望が増え、平成 30 年度から定員 70 名としましたが、平成 31 年度の見込みとして 64 名が常時利用を希望しており、長期休暇中の希望者 5 名を加えると、計 69 名ほぼ定員いっぱいになっています。指導員も来年度、今のところ常勤 3 名、アルバイト 2 名の 5 名体制で対応していきたいというところです。能勢町は資源が足りないなかで、若干課題を抱える児童へは指導員が対応しているなかで、児童 40 名に指導員 2 人という国、町の基準がいるなかで、それを上回る形で指導員を配置しています。土曜日のニーズに応えたいものの、指導員の確保が難しい状況です。</p> <p>そもそも久佐々小学校で児童クラブが発足した経過も、保護者会から放課後児童クラブが発足した経過がありました。保護者の皆様方へも今の放課後児童クラブの現状を知っていただいたうえ、また協力をしていただけたらというところで、小学校や中学校、幼稚園、保育所を通じて、児童クラブ指導員への協力依頼のチラシをこの前配布をしたところ、若干、この間、お電話をいただいているところです。</p> <p>町全体で役割分担しながら支えていくことも検討していきたいと思っており、当面は平成 32 年度に利用希望が増えた時の対応が課題になるが、放課後の居場所では教育委員会が実施するアフタースクールの事業とも分担、整理しながら提案したいと考えています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。このような町の取組を私達が周囲に伝えていくことも協働の一つだと思います。協力したいという人に届けば支援の輪が広がると思います。子どもも大人たちに守ってもらっていることをほんとに自覚してくれば、大人になったときにすばらしい人を助けられ、人と一緒に動ける仲間が大人としてできて、共生のすばらしい能勢町が生まれると思います。</p> <p>次に、案件 2、平成 30 年度子ども・子育て支援事業の取組状況について、説明をいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>（案件 2、平成 30 年度子ども・子育て支援事業の取組状況について 福祉課説明）</p> <p>（参考資料 1、2 生涯教育課説明）</p>
会長	<p>ありがとうございました。案件 2、参考資料 1、参考資料 2 につきまして、ご意見、ご質問いかがでしょうか。</p>
三島委員	<p>学校やイベントへの父親の参加は、能勢では少ないのが気になっており、もっと関わってくれば良いと思います。全国では親父の会というものが立ち上がっています。例えば箕面市の彩都では、新しい団地ができたときに、地域との繋がりを作るため、PTA を中心に子どもたちの居場所に取り組んでおられ、参加者も多いと聞いています。</p>

	<p>また、能勢町では能勢高校との連携もあります。高校生なら自分たちで主体的にできる事も多い。親父会やPTA、学生など、自分たちでやれることに関わってもらい、学校側も開放することで、参加型に変えていけるのではないかと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。地域の学校として、いろいろ輪がひろがってきている状況のなかで、どちらかというと、お父さんの参加が少ないことと、芽を上手に育てなければならぬ現状、地域から広がり、子どもが知らず知らず受け止めていければと思います。</p>
斉藤委員	<p>能勢高校で家庭科の指導をしているが、こうした取組を高校側へも伝えることが大事だと思います。能勢高校では町の子育て支援の事業を通じて学生が地域と交流しており、学生にとっても良い経験になっています。町や地域の取組に高校も力を貸していけたら良いと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。家庭科の授業のなかで、この会の紹介もしていただくなど、いろんな形、角度から生きる基本、保育から介護まで皆で共生社会をつくる一つの方法を、能勢分校も役割を担っていただいております。ほんとにありがとうございます。</p> <p>そのほか、何かありますか。</p>
事務局（学校教育課）	<p>（アフタースクールについて補足説明）。</p> <p>アフタースクールでは、自主学習 58 回、体験学習 42 回の計 100 回の実績があり、参加者数もそれぞれのべ 1,616 名、932 名の計 2,548 名となっています。</p> <p>ボランティアの方もべ 315 名参加いただいております。</p> <p>能勢高校の高校生も活躍していただいております。現場の体験の機会として、行政との連携を進めていただいております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ほんとたくさんの皆様方がいろんな形で子どもたちのために、力を貸してくださっています。こういうことをお互いが感じあうことが大事だと思います。今日のことを何かの機会にお伝えいただいたらうれしいです。子どもたちはいろんなお力で元気に育っています。事業があるからいろんな取組ができています。そのほかご意見ございませんか。</p>
宇佐美委員	<p>先ほどご説明いただいた資料 4 ページ、子育て短期支援事業、ショートステイについてショートステイについて、利用実績は無いとのことですが、177 千円を毎年支払うということですか。</p> <p>アンケートの 26 ページに、泊りがけで子どもを見てもらう必要があった時の状況として、子供だけで留守番をさせたという回答が小学</p>

	<p>生で1件あり、ニーズを拾いきれていない実例になっているのではないかと思います。</p> <p>ショートステイを利用するには、利用料を自己負担する必要がありますか。</p>
事務局（福祉課）	<p>利用者の所得に応じた自己負担があります。ショートステイの予算177千円については、利用があった場合に自己負担と併せて町が負担する費用として予算計上しており、利用が無い場合は発生しません。</p>
宇佐美委員	<p>このようなサービスを利用できることを知らなければ、いざという時に行動できないので、周知のための広報が必要だと思います。何人かに相談したときにそんなサービスがあるということを情報共有できるようになればいい。利用がないにこしたことはないけれども、ほんとに拾いきれていないのはどれくらいあるのかを考えると、もう少し周知が必要だと思います。</p>
会長	<p>ほんと今大切な部分のご意見をいただきましたが、何かの機会にこういう事業等もあるんだという、また経験した方もこれで助かったとか話すことで、安心感も生まれます。それが子どもたちの幸せにつながります。</p> <p>そのほか、ございませんか。</p>
事務局（福祉課）	<p>ショートステイを利用された場合、自己負担のほかに、施設に支払う費用として177千円、1週間分を頭出しで予算化しています。これを毎年支払っているのではなく、活用されたときに自己負担分と併せて、施設に費用としてお支払する予算措置になっているので、ご理解いただければと思います。また、必要な人にきちんと使ってもらうよう運用していきたい。</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。それではご意見ほかにないようでしたら、最後、案件3幼児教育無償化について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局（福祉課）	<p>（案件3. 幼児教育無償化について 説明）</p>
会長	<p>ありがとうございます。今、事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等ございませんか。</p>
委員	<p>特に意見等なし。</p>
会長	<p>只今、ご説明を受けましたので、国の状況を踏まえて決めましたら、町報、その他かわりのある方へは周知をされるかと思いますので、一つよろしく願いします。</p> <p>それでは、最後の案件4. その他に進ませさせていただきます。事務局の方から何かありましたらよろしく願いいたします。</p>

事務局（福祉課）	<p>（能勢ささゆり学園（小・中学校）「学びの丘」一般開放について 生涯教育課説明）</p> <p>（コミュニティースクールだよりについて 学校教育課説明）</p>
会長	<p>ご説明ありがとうございました。学校で行われている行事等、機会がありましたら、お声をかけていただきましたら光栄に思います。</p> <p>続いて、事務局の方よろしく願いいたします。</p>
事務局（福祉課）	<p>（事務局から今後の会議のスケジュール等について説明）</p> <p>次年度以降については、計画策定の業務に入ります。通常年間3回開催のところ年間5回程度の開催を予定しています。1回目を5月あたりで開催、量の見込み、計画素案、計画案、パブリックコメント、最終計画案という流れで審議いただくこととなります。</p> <p>今後、速報値の内容を基本に、量の見込みを推計し、具体的な目標設定、提案をできるよう作業を進めていければと考えており、新年度に入りあらためての日程調整、ご案内をさせていただきますのでご出席をお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。只今、ご説明がありましたけれども、ご質問ありませんか。</p> <p>只今、皆さん方からたくさんのご意見をいただきました。</p> <p>次年度は事務局からのご提案のように、次期計画策定のため回数が増えますが、子どもたちのため、日々の生活につながることを信じて皆様方のご参加をお願いします。</p> <p>最後になりましたが、樺山副会長から閉会のご挨拶をいただきたいと思っております。</p>
副会長	<p>本日はお疲れ様でした。ニーズ調査の結果では前回より高かったといことで、やはり、返信率はすごく大事な指標で、これだけの返信率を確保されたのは、配布のお声かけ、もともとの日々の町の方のご尽力の成果思っています。その中で今日、いろんなディスカッション、取組みを聞き、すばらしいなと感じました。</p> <p>例えば、働くお母さんの声を聞いたことは、よかったですと思います。実はニーズ調査でも支援を必要としている方等が答えてない可能性がすごい高く、渦中にいる人、支援が必要な人、そういった方が拾えてない背景があると思います。</p> <p>こういった会議をきっかけに、そういう人たちにアプローチする口実になります。地域の子どもの状況、地域の人々がアンテナをはって、振り分けをどうつなげるかすることで、事業の参加率だけではなく、プロセスのなかに意義があり、声をかけられたお母さんたちも安心されるのではないかと感じました。安心感や地域の愛着がはぐくまれることで、子どもたちが育つんだなと思えました。今日はほんとお疲れさまでした。また、今年度いろいろとご協力をいただきありがとうございました。来年から一つよろしく願いいたします。</p>

事務局（福祉課）

本日は、何かとお忙しい中ご出席をいただきまして、そしてまた、長時間ご審議を賜りまして、ありがとうございました。  
これをもちまして、第3回能勢町子ども・子育て会議を閉じたいというふうに思います。本日はどうもありがとうございました。